

学習のまとめと表現

第5章の学習を振り返って整理しよう

教科書 p.188~190

1 STEP

次の問いに答えよう。

- | | | |
|----------|--------|---------|
| ① 社会保障 | ② 介護保険 | ③ 公共事業 |
| ④ ユニバーサル | ⑤ 公害 | ⑥ 六次産業化 |

⑦ (解答例)
 ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と家庭生活との両立を実現させる考え方である。現在の日本では少子高齢化が進み、生産年齢人口の減少から高齢者や女性の労働参加が期待されている。子育てや介護が必要な時期など、個人の置かれた状況に応じて多様で柔軟な働き方が選択できる考え方として、注目されている。

⑧ (解答例)
 経済のグローバル化の影響により、海外の安い品物を世界中から入手できるようになる一方で、安い労働力や土地を求めて海外に移転する工場も多くなり、日本国内でも産業の空洞化が起こった。また、大企業の中には、多くの国に拠点をもち、原材料の調達から生産・販売までの分業を世界規模で効率的に行う、多国籍企業も増えている。そのことは、地域経済が衰退する一つの原因にもなっている。

⑨

①	A	イ	B	エ	C	ア	D	ウ
	E	ク	F	オ	G	キ	H	カ
②	社会保険料		③	生活保護法			④	税金

⑤ (解答例)
 社会保障制度は、子どもから高齢者まですべての世代の生活を支援するが、特に高齢者に多く利用される。少子高齢化が進み高齢者の割合が増加する中で、年金と医療を支える費用が増大している。

2
STEP

資料を読んで、次の問いに答えよう。

(解答例)

- ① 過疎化が進み、元気がなくなりつつある生まれ故郷のまちを、なんとか元気づけたいという思いから。

② (解答例) 義手や義足など体の一部を復元するための装具を製造するという、社会的に意義がある仕事を長年続けてきていて、そうした仕事で順調に売り上げを伸ばしている会社に魅力を感じる多くの人々が、全国から就職を希望し訪れるようになった。また、資本主義経済の中で、利益だけを考えるのなら東京などの大都市に本社を構えるが、地方を元気にしたいという想いに共感した人が訪れるようになった。

③ 【似ているところ】

(解答例)

・この会社は、国や地方自治体が行う「資源分配」のように、社会で必要とされている義手や義足をつくり社会的な貢献を行っている。

【異なるところ】

(解答例)

・政府は私企業とは違い、利益の追求が第一の目的ではない。

④ 【国・地方自治体】

(解答例)

・誰もが人間らしい生活を送れるように、バリアフリーや社会資本の整備はもちろん、介助員や支援者などの人材を増やすことも強化する必要がある。

【民間企業】

(解答例)

・まずは、事業を安定して継続することで、雇用を守り、税を納めることが企業の責任である。そして、今後も利益を出しつつ、自社の事業を通して、社会的な課題の解決に取り組んでいく姿勢が求められる。

3
STEP

第5章全体のテーマについて、次の問いに答えよう。

第5章「安心して豊かに暮らせる社会」全体のテーマ

「私たちが安心して豊かに暮らしていくために必要なことは、
どのようなことだろうか。」

①

(解答例)

予測不可能な事態に突然あったり、回避不能な事故などにあったりした場合、自分の力だけでは対処ができないときもある。こうした場合に、社会全体で互いに生活を支えあうしくみとして、社会保障制度が必要だと思う。

②

(解答例)

- ・ お金…生活していくためには絶対に必要だから。
- ・ 健康…命があること、生きていくことができることが大切だから。
- ・ 自分のやりたいことができること…毎日の生活を、充実感をもって送ることができるから。

③

MEMO

④

MEMO

掲載されている解答は、一つの例です。
自分の解答が正しいか気になった場合は、
先生に質問してみましょう。



まっぴんぐま